

2021年度 事業者向け 放課後等デイサービス・児童発達支援 自己評価表(あかとんぼ稲毛)

評価期間: 2021年10月～2022年3月

回収数/配布数: 9/12

回収率: 75%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	33%	67%		食事以外は、テーブルを端に寄せることによりスペースを広く使うようにしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	67%	22%	11%	食事やトイレ介助が必要な場面が多いため、配置基準より多めに配置しています。その中で利用者や保護者の意向を最大限くめるよう朝礼等で個々の利用者に対する支援上の留意点を毎回共有しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			館内段差等はなく、トイレについても手すりやベンチシートを設置しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	33%	67%		改善点等の意見を職場会議や夕礼にて挙げてもらい、それに対する具体的対応を話し合い、実践後点検するという形を取っています。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			年に1回利用者アンケートを実施し、ご意見を参考に運営しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			ホームページ上に公表しており、年に1回更新しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は実施していませんが、法人内の同事業間で点検を実施し、指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	78%	22%		月1回の職場会議内において研修時間を設けています。法人としても年4回、権利擁護等の研修を重点項目として位置づけ行なっています。外部研修については、オンラインにて参加しました。次年度についても積極的に参加していきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	89%	11%		面談や送迎時の会話、1年に1回記載していただくアセスメントシートからニーズや課題を把握しています。家庭と同じ方向性でアプローチし成長につなげていけるようサービス計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	56%	22%	22%	アセスメントシートに日常生活動作の自立度等を確認する項目はありますが、適応行動の状況をはかる内容にはなっていないため、法人内の同事業所間で改善に努めます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	22%	67%	11%	毎月の職場会議や土曜イベント会議において、利用者の成長や楽しみにつながることを意識しながら活動内容を話し合っています。

適切な支援の提供

12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	67%	22%	11%	活動がマンネリ化しないようイベントを企画したり、おもちゃの入れ替えを行う等しています。また活動の幅を広げていけるよう、これまで行なっていなかった遊びを試してみる等しています。今年度は、みんなで楽しめるものとして手遊び歌に取り組みました。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	33%	56%	11%	朝礼にて利用者毎の支援上の留意点や課題を共有し支援を行なっていますが、平日・休日・長期休暇に応じて課題を設定しているとまでは言い切れない現状です。休日や長期休暇については活動時間が長いので、平日時間が短くあまり屋外での活動ができない分、積極的に屋外で活動することを心がけています。
14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	67%	22%	11%	個々の利用者の状況や保護者の要望等から、利用者毎に計画を作成しています。結果として、集団活動に焦点を当てる方もいれば、個別活動に焦点を当てる方もいます。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			朝礼を実施し、その日の支援内容、個々の利用者に対する支援上の留意点や安全上の留意点等を共有しています。
16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	89%	11%		夕礼を実施し、一人ひとりがその日の活動について感じたことや気付いた点を述べてもらう時間を設けています。それを受けて、翌日以降の支援において利用者に対し新しいアプローチをしたり、ひやりはと等を共有しています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	78%	22%		記録については、個人的な感想や見解を書かないことを徹底しています。必要に応じ、利用者の気になる行動がいつから見られるか等の振り返りに活用しています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	67%	22%	11%	原則6ヶ月に1回モニタリングを行ない、必要に応じ計画を見直しています。日々の朝礼・夕礼や月1回の職場会議等で、利用者の状態に変化があれば共有し、期中であっても見直しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	56%	44%		複数の基本活動を組み合わせています。昨年度はガイドラインに対する理解が十分ではなかったため、職場研修にて取扱いました。ガイドラインについては、意識に留めていくためにも今後も研修にて取り扱っていきます。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもともふさわしい者が参画しているか	100%			担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加することとしています。

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	89%	11%		送迎時に情報共有を行なっています。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	56%	44%		医療的ケアが必要な利用者の受け入れは行なっていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			保護者からの情報のみではなく、必要に応じ児童発達支援事業所の支援計画等を支援の手掛かりとすることがあります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		100%		問い合わせがあれば、情報提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		児童発達支援センターとの連携はこれまで行なっていません。発達障害者支援センターについては、主催の研修「発達障害講座」にオンラインにて参加しました。今後も積極的に参加していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのないこどもと活動する機会があるか		44%	56%	外部団体との交流はほとんどないため、公園に出掛けた際の地域の人とのふれあい等を大切にしています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			100%	参加できていないため、機を見て参加します。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			連絡ノートや送迎時・保護者面談等でのコミュニケーションを通じて、利用者の状況や課題について共有を図りながら、時には学校とも連携して支援を行なっています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	11%	44%	44%	ペアレント・トレーニングの機会は持っていません。保護者からのご相談に可能な限り応えられるようスタッフの資質向上に努めています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に重要事項説明書等を用いながら説明を行なっています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	67%	33%		保護者からのご相談は、基本的には児童発達支援管理責任者が対応しています。必要に応じて学校や相談支援事業所とも連携して少しでも保護者の負担が軽減されるよう努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		44%	56%	年に1回保護者会の実施を考えていますが、コロナ禍のため実施していません。コロナ終息後、企画していきます。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	89%	11%		苦情受付に関し、契約時に事業所・法人・外部機関各窓口の案内を行なっています。苦情を受け付けた際には、法人で定められた規程に則って対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	100%			隔月で会報を発行し活動内容を紹介しています。行事予定や緊急時の連絡体制などの案内については、会報とは別に適宜書面で行なっています。

	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			個人情報が記載されているものについては、施錠可能な場所に保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			文字盤やジェスチャー、メール等を用いてコミュニケーションを行なっています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		44%	56%	事業所としては行なっていませんが、複合施設としては、サロンや地域食堂等の活動を行なっています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	67%	33%		状況毎の対応方法について、年度始めや流行時期にお手紙を配布しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	89%	11%		年に2回法令で義務付けられた通報・消火・避難訓練を行なっています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			法人として年に1回「権利擁護」をテーマとした研修を行なっています。事業所としても毎年行なっていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			法人として方針を定めており、やむを得ず身体拘束を行う際には、保護者に了解を得た上でサービス計画に記載しています。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	78%	22%		指示書はいただいていませんが、保護者からの情報に基づいて対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%			朝礼及び夕礼にて共有しています。当日出勤のないスタッフに対しては業務日誌にて周知しています。

2021年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ佐倉)

評価期間：2021年10月～2022年3月

回収数/配布数：13/14

回収率：93%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	38%	54%	8%	フロア全体が縦長ということもあり状況によっては手狭に感じることがあります。中庭や近隣スペース等の活用を積極的に行い、可能な限りのびのび過ごせる環境を整えています。
	2	職員の配置数は適切であるか	54%	46%		基準より多く配置していますが、活動内容等によっては配置が十分でないと感じることもあります。職員間の情報共有・連携を大切にしながら対応しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	69%	23%	8%	建物全体はバリアフリーになっており、トイレは車イスの方でも入れる広さで手すりも設置されています。一方で事業所の玄関などは広さが十分でなく、スペースの確保に課題がある為、物の置き場など工夫していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	62%	38%		事業所会議や支援前ミーティング等の場で職員同士で意見を交わし合い、課題の共有、対策の検討、振り返り等を行っています。特に振り返りには時間をかけ、現状に合った改善ができるよう努めています。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			毎年アンケートを実施しています。昨年度に続き、今年度も新型コロナにより支援の一部縮小など思うように改善が進まない状況もありましたが、保護者の方からいただいたご意見は真摯に受け止め、改善できる部分から順次改善を進めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			法人ホームページ上にて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は実施していませんが、法人内同事業の事業所による点検を受け、指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			月1回の頻度で研修を開催しています。今年度は同エリア同事業が集まっての合同研修や市内の同事業の事業所が集まってのグループ討議などにも参加できました。Zoomで外部研修に参加することもありました。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	92%	8%		丁寧なアセスメントを心がけ、現状を把握・分析した上で計画に反映できるよう努めています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	69%	31%		標準化されたアセスメントシートを使用していますが、内容が十分でないと感じる部分がある為、今後の課題として引き続き内容の改善に取り組んでいきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	77%	23%		日頃から職員間で意見を出し合い、様々な視点を持ちながら可能な限り活動の偏りが出ないように心がけています。準備や振り返りも都度行っていますが、十分でないケースもありますので、プログラムの実施はもちろん、その前後も大切にしながら継続していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	77%	23%		新型コロナで制限がある中でも「どのような活動ならできるのか」職員間で意見を出し合い少しでも活動内容が充実できるよう工夫しています。今後も個々の意向を最大限尊重しつつも、様々な活動に目を向けられるような提案を行っていきます。今年度は特に手作りゲームイベントが好評でした。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	77%	23%		細やかな課題の設定が難しいこともありますが、それぞれの時間・過ごし方の中でできることを日々模索・検討しながら支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	85%	15%		計画の中で明確に位置づけされていないケースや課題もありますが、状況に応じて個別・集団を意識して活動しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	69%	31%		基本的に毎回支援前ミーティングを行い、担当や特記事項等必要な情報を共有・確認してから支援に臨むようにしています。1日活動時は全員が集まってのミーティングは難しい状況にありますが、その時には紙ベースで必要な情報は都度共有する形を取っています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	77%	23%		退勤時間がまちまちで全職員が集まる形で支援を振り返る場を持つことは難しい状況ですが、支援後ミーティングとして、業務日誌を用い利用者に関する気づき等を共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			活動中に補助記録用紙も用いながら正しく記録できるよう徹底しています。しかし、記録が支援の検討や改善までに至らないケースもあるので、引き続き課題として取り組んでいきます。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	92%	8%		基本的にモニタリングは半年に一度実施しています。計画変更の必要性の有無等、モニタリング調整会議を開催し、時間をかけ丁寧にを行うようにしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	69%	31%		様々な働き方がある中でガイドラインの理解に差があり、事業所内で共有しながら理解を深めていく必要性を感じています。活動内容自体はガイドラインに沿ったものを提供しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもともふさわしい者が参画しているか	100%			担当者会議には基本的に児童発達支援管理責任者が参加するようにしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	85%	15%		新型コロナの影響により最小限になることもありましたが、必要に応じて情報共有・連絡調整を行うことができています。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	54%	46%		主治医の情報は把握できていますが、基本的にはご家族を介してのやり取りとなっています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		保護者からの情報提供が主で、就学前に利用していた機関との直接的な関わりはほとんどありません。必要に応じて連携して対応していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		100%		市によっては専用のファイルがあるので、それらも活用しながら必要に応じて情報を提供できる体制を整えています。相談支援事業所とは密に連携を取るようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%		必要に応じて連携を取ることもありますが、十分とは言えません。より専門性を高める為にも助言、研修等を受けられる機会を持てるように努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのないこどもと活動する機会があるか		62%	38%	元々課題でしたが、昨年度に続き今年度も新型コロナの影響により地域への外出を制限し、同一敷地内の高齢利用者との定期交流も自粛した為、機会を持つことができませんでした。今後の状況を鑑みながら、どのような形で交流する機会が持てるか検討を進めます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			今年度も新型コロナの影響で開催回数は減少しましたが、開催時には担当者が参加し、その場で得られた情報は職員間で共有しています。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	85%	15%		日頃からこまめに状況を共有することができています。今後も継続することで理解を深めていけるように努めます。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	23%	69%	8%	ペアレント・トレーニング等を行うまでには至っていませんが、保護者からの質問等には都度可能な限り回答するようにしています。今後専門性を向上させることで保護者の対応力も向上できるよう力を入れていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			基本的には契約時に細かく説明するようにしています。その他必要に応じ都度丁寧に対応しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	62%	38%		保護者が相談しやすい雰囲気・環境作りを心がけ、傾聴の姿勢で対応するようにしています。困難ケースが増えており十分な助言に至らないこともあるので、スキルを向上させていけるように努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	15%	70%	15%	今年度も昨年度に続き、新型コロナの影響で保護者同士が交流できるような場を持つことができませんでした。次年度は何らかの機会が持てるよう検討を進めます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			契約時に重要事項説明書に基づいてご案内しています。苦情があった場合には、適宜適切に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			行事等は都度お知らせを配布しています。活動内容は月に一度の事業所内広報紙の発行と不定期のブログにて報告する形を取っています。おやつ献立表も毎月発行しています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			個人情報の取り扱いには十分注意し対応しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			それぞれの特性や状態に合わせた個別対応がとれるよう配慮していますが、十分でないケースもあります。今後も事業所全体でコミュニケーションスキルが向上できるよう取り組んでいきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8%	69%	23%	今年度も昨年度に続き、新型コロナの為、地域の方と交流する機会などは持てませんでした。今後も状況を鑑みながら、どのような場を創出していけるか検討していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	92%	8%		マニュアルは作成できており、内容の変更等があった際には都度職員に周知しています。保護者に対しては、対応方法についてまとめた手紙を年度初めや流行時期に配布し周知しています。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	92%	8%		施設全体の訓練に加え、6月、11月の年2回事業所単位でも避難訓練を実施しました。必要な動きの確認や課題等が出ればその都度共有しながら対応しています。防犯訓練も年に1回行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			虐待防止委員を決め、定期的に研修する機会を設け、対応を周知・徹底できるように努めています。また、強度行動障害の対象児を中心に支援手順書を作成し事業所内で統一の支援を提供しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			法人として方針を定めており、やむを得ず身体拘束を行う際には、保護者に了解を得た上でサービス計画に記載しています。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	69%	46%		基本的に医師の指示書はいただいけません、保護者からの情報に基づき対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%			報告書を作成し全職員で回覧するとともに会議等の場で確認し、原因の分析と対策を話し合っています。

2021年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ作草部)

評価期間: 2021年10月～2022年3月

回収数/配布数: 9/10

回収率: 90%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	55%	45%		諸事情により定員超過をする際はどうしても手狭になりますが、環境整備をして少しでも広く使えるよう工夫しています。また、感染予防の観点から臥床スペースを広くとる必要があり、車椅子を端に寄せるなどして対応しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	22%	78%		医療的ケアを必要とする利用者数と担当できる職員数、利用者と職員の男女比率等、バランスを取り切れずに適切なタイミングでケアが提供できない場合もありますが、できる限り適切な配置が取れるよう工夫しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			どなたでも利用しやすい環境が整っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	45%	45%	10%	基本的に職場運営に関する事項は職場会議にて検討・決定し、新たに課題が生じた場合には、改めて話し合いを行なっています。ただし、振り返りの力にばらつきがあるため、次年度はあるべき姿や目標を明確に定めることで、達成度や課題を見出しやすくします。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			ホームページ上に公表しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は行なっていませんが、法人内部の自主監査を受け、必要に応じて業務改善につなげています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	67%	33%		ZOOMでの研修等含めて、昨年度より多くの外部研修に参加することができましたが、ただし、研修開催情報は職員間で共有していますが、十分に情報が集まりませんでした。次年度は研修情報を集めるための仕組みづくりに取り組みます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			面談・アセスメント後に作成された計画に対し、全職員がモニタリングに関わることで、共通認識の持てる計画を作成(更新)できています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	89%	11%		今年度はアセスメントツールの改善に着手予定でしたが未実施の状況です。次年度以降の課題として持ち越します。

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	89%	11%	今年度から新たに活動会議を毎月開催し、計画・準備・実施を計画的に行いました。多くの職員が会議に参加していることが、実際の活動時に積極的に取り組むことに繋がっています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	78%	22%	活動会議を設けたことで、各職員のアイデアを持ち寄ることができ、バラエティに富んだ活動に繋がっています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	33%	67%	特に長期休暇や休日は学校の代わりに身体を整える時間をできるだけ取るようにしていますが、対応内容にばらつきがあるため、次年度はケア内容の底上げと均一化に取り組めます。
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	78%	22%	それぞれの状況をご家族と相談しながら、優先順位の中で活動内容を計画に反映させています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	67%	33%	放課後利用時は朝礼を行なっていますが、当日の現場の流れや動きをイメージできるよう、朝礼の内容を再検討します。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	45%	55%	清掃等に時間を取られてできていない日が間々あったため、必ず実施するよう徹底します。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	89%	11%	正しい記録は徹底していますので、今後も継続します。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	78%	22%	全職員が参加してモニタリングを行い、必要に応じて計画を見直しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	67%	33%	ガイドラインの基本活動を意識しつつも、その時々、利用者の状況等に応じて適切と判断できる活動に取り組んでいます。
関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%		基本的には児童発達支援管理責任者が参加し、必要に応じて専門職も同席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	45%	55%	専用アプリを使って休校や感染者が発生した際の情報等をいただけるようになったため、以前よりも情報を収集しやすくなりました。ただし、学校側が事業所側に引き渡せない判断を下した際、学校側と直接話をすることができない(ご利用者家族を介さなくてはならない)ため、その点については引き続き学校に対して直接対話ができるよう提案し続けます。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	45%	55%	緊急時にはご家族の判断が主となるため、ご家族の間では緊急時の対応に係る取り決めをしています。主治医との連絡を直接取る必要があるケースは稀ですが、連絡先は把握しています。

係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%			主にご家族から情報をいただくケースが多いです。必要に応じて事業所間連携に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		100%			今年度は特に情報提供依頼がなかったため、依頼があった際には提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%			これまで相談したことはありませんが、必要に応じて相談したり研修を受ける予定です。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのないこどもと活動する機会があるか	33%	34%	33%		新型コロナの流行もあり、地域のこどもと交流する機会を持つことはできませんでしたが、次年度以降、可能な範囲で機会を設けます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%				医療的ケア部会に参加しています。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	67%	33%			特に送迎時にご家族と様々な話をして情報交換するよう努めています。今後も、事業所側・ご家族双方がそれぞれがほしい情報を交換し合えるよう、更に関係性を深めます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	22%	67%	11%		ペアレントトレーニングという形では行なっていませんが、特に専門職としての気づきや専門性をご家族に還元できるよう、継続して情報提供・支援します。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%				重要事項説明書に基づいてご説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	78%	22%			ご相談いただいた場合には専門職として答えられる範囲で助言し、個別対応が困難な場合には、事業所に持ち帰って相談の上回答しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11%	78%	11%		毎年春明けに家族交流会を開催していますが、今年度は新型コロナウィルスの蔓延に伴い、開催を見送りました。状況が落ち着き次第の開催を予定しています。
	33	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	78%	22%			契約時に重要事項説明書に基づいてご案内しています。また、苦情(ご意見)があった場合には、適時適切に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	100%				月約3回のブログ更新及び毎月発行の広報紙で当事業所の活動状況についてご案内しています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	89%	11%			法人内の個人情報漏洩事故等の事例を共有するなど、危機意識を常に持って日々の対応に当たるようにしています。
	36	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	78%	22%			学校やご家族と足並みを揃えつつ、最も意思疎通や情報伝達しやすい手段の模索を常に行なっています。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11%	67%	22%	新型コロナウイルスの蔓延に伴い、例年行なってきた地域活動も自粛していません。今年度は一度しか交流を持っていませんでしたので、状況が落ち着き次第、地域活動を再開予定です。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	55%	45%		マニュアル作成は終了していますが、現在見直しを行なっている最中です。必要に応じてご家族宛の案内にも修正を加え、有事の対応について情報共有します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	89%	11%		毎年2回実施していますが、緊急時対応に関する訓練が不足しているため、次年度は月1回の非常災害時の訓練を実施するよう予定しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	78%	22%		同施設にある他事業所と共に虐待防止委員会を開催している他、事業所としても事例検討をするなど虐待防止に取り組んでいます。主に正規職員を対象として、毎年1名ずつ、順番に外部研修にも参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			契約時及び計画書作成時に必ず説明の上、ご了承いただいています。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	100%			医師の指示に基づくご家族の指示をいただいています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%			今年度より、ひやりはつと報告書を使って事例の共有と対策を行なっています。ただし、事例が少ないため、職員同士で気付いた点を言い合える環境づくりに取り組めます。

2021年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ土浮)

評価期間：2021年10月～2022年3月

回収数/配布数：7/10

回収率：70%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	58%	28%	14%	特に利用人数が多い時には一箇所に集中し密にならないよう庭に設置してある大型遊具も積極的に活用しながら活動しています。落ち着けるスペースも確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	86%	14%		基準は満たしていますが、学校ごとの下校時間によって配置に変動があるため、こまめに職員間で声を掛け合い連携しながら安全を確保しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	14%	28%	58%	民家を借りての活動のため玄関・トイレ等のバリアフリー化はされていません。必要に応じて職員間で危険箇所など意見を出し合い、少しでも安全に活動できるよう環境整備に努めています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	72%	28%		少しずつ全体の意識が変わってきており、多くの職員が業務改善への意見を出せるようになりつつありますが、十分ではない為、今後も優先順位をつけながら、改善を進めていけるように努めます。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			毎年アンケートを実施しています。昨年度に続き、今年度も新型コロナにより支援の一部縮小など思うように改善が進まない状況もありましたが、保護者の方からいただいたご意見は真摯に受け止め、改善できる部分から改善に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			法人のホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか	100%			外部評価は実施していませんが、法人内同事業所の事業所による点検を受け、指摘事項については改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			月1回の頻度で研修を開催しています。今年度は同エリア同事業が集まったの合同研修や市内の同事業の事業所が集まったのグループ討議などにも参加できました。また、強度行動障害支援者養成講座の基礎研修に1名参加することができました。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			丁寧なアセスメントを心がけ、現状を把握・分析した上で計画に反映できるよう努めています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	86%	14%		標準化されたアセスメントシートを使用していますが、内容が十分でないと感じる部分がある為、今後の課題として引き続き内容の改善に取り組んでいきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	86%	14%		職員間で意見を出し合い、チームとして立案に努めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			利用者の特性をふまえ固定化しないように、過去の活動の振り返りや多方面から情報を収集し検討しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	72%	28%		日によって状況が異なることもあり、十分とは言えません。より明確に課題を設定し、活動内容が充実できるように努めます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	86%	14%		計画の中で明確に位置づけされていないケースもありますが、日々の利用者の状況に合わせて個別・集団を意識して活動しています。今年度は平日にもイベントを組み込み、集団活動の時間を増やしました。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			毎日支援開始前にミーティングを行い、その日の流れや担当等を共有しています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	44%	28%	28%	退勤時間がまちまちでその日のうちに十分な共有が難しい日もありますが、そのような時には翌日などにきちんと振り返り、共有するようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			正しく記録をとれるよう研修を行っていますが、支援の検証や改善までつなぎきれていないのが現状です。引き続き、課題として取り組んでいきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			モニタリングは半年に一度実施しています。また計画変更の必要性の有無等、時間をかけて丁寧に行うようにしています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100%			ガイドラインの理解に差があり、日によってもバラつきがあります。会議・研修等でガイドラインの理解を深め、支援の幅を広げられるように努めます。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	72%	28%		状況に応じて、児童発達支援管理責任者・当該利用者の担当者などが参加しています。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			連携は取れており、必要に応じて情報共有・連絡調整を行うことができます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	72%	14%	14%	現在該当者はいませんが、受け入れの際には体制を整えられるように検討します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		28%	72%	全員分は行えていない現状にあり、課題のひとつとして捉えています。今後情報共有に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	86%	14%		該当する機会があった際には、そのように対応していきます。相談支援事業所との連携は密になってきています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			必要に応じて児童発達支援センターと連携を取ることはありますが、十分とは言えません。今後より良い連携方法を検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	14%		86%	現状機会が持てておらず課題のひとつとして捉えています。どのようにすればかわる機会が持てるのかを検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			担当者を決め定期的に参加し、その場で得られた情報は職員間で共有できるようにしています。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	72%	28%		日頃からこまめに共有するようになっています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	14%	72%	14%	事業所だけでは対応が十分にできないケースもあります。難しい場合には、学校等と連絡を取り合い対応しています。専門性を向上させることで保護者への対応力も向上できるような学びを深めています。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			基本的には契約時に細かく説明するようになっています。その他必要に応じてその都度丁寧に対応しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	72%	14%	14%	保護者が相談しやすい雰囲気・環境作り・傾聴の姿勢での対応を心掛けています。十分な助言に至らないこともあるので、少しずつスキルを向上させていけるよう努めていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		28%	72%	開催の計画をしていましたが、今年度も新型コロナの影響により中止しました。2022年度は開催の方向で検討しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	86%	14%		体制は整備されており、ご意見を真摯に受け止めています。安心してご利用頂けるよう、丁寧な対応を心がけていきます。

説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			事業所内広報紙の発行やブログの更新を定期的に行っています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			個人情報の取り扱いには十分注意して対応しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	86%	14%		個々に合わせたツールを用い、可能な限り配慮できるよう心掛けています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		43%	57%	新型コロナ蔓延に伴い、地域の人々との交流は持てませんでした。現状が落ち着き次第、地域住民のみなさまとどのようにかかわっていけるか検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			マニュアルは作成できており、内容の変更等があった際には都度職員に周知しています。保護者に対しては、対応方法についてまとめた手紙を年度初めや流行時期に配布し周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			年2回避難訓練を実施しています。過去の訓練時の様子も踏まえ、内容や利用者へのアプローチを検討しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			虐待防止委員を選出し、定期的に研修する機会を設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			やむを得ず身体拘束を行う可能性のある場合には、事前に十分な説明・同意を得た上で行えるよう体制を整えています。現時点で計画書に記載するケースはありません。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	100%			アレルギー、発作等がある方に関してはその都度保護者に確認を取っています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%			報告書を作成し全職員で閲覧するとともに、会議の場で共有し次に活かせるようにしています。

2021年度 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表(あかとんぼ飯野)

評価期間：2021年10月～2022年3月

回収数/配布数：14/14

回収率：100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	36%	14%	2021年度も引き続き、新型コロナ蔓延により公園や散歩などの外出機会は少なくなりましたが、利用人数によりスペースが十分でないと感じる時には積極的に庭に出て分散するなど工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	50%	50%		基準は満たしていますが、学校ごとの下校時間によって配置に変動がある為、こまめに職員間で声を掛け合い連携しながら安全を確保しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	21%	36%	43%	民家を借りての活動の為、段差や階段がありますが、階段に手すりをつけたり、滑り止めをつけ転倒防止をしたりと活動しやすい環境作りに努めています。また、職員同士で危険箇所がないか意見を出し合い都度整備するよう心がけています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	71%	22%	7%	以前に比べ多くの職員が業務改善への意見を出せるようになってきましたが、十分とは言えません。全職員の意見が聞けるよう定期的にアンケートや意見交換を実施するなど工夫しています。出た意見に対しては優先順位をつけながら、改善を進めていけるように努めています。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			2021年度も引き続きアンケートを実施しました。保護者の方から頂いたご意見は真摯に受け止め、全職員で共有・把握をし、改善できる部分から順次改善を進めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	100%			ホームページ上で公表しています。
	7	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか		100%		外部評価は行っていませんが、法人内部の自主監査を受け、必要に応じて業務改善につなげています。

	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			2021年度は、新型コロナウイルス感染症への理解を深め適切な対応を取れるような研修の実施など現状に合った内容を盛り込みながら全体のスキルアップに努めました。また、虐待防止に関する研修を行うなど、専門性が高めていけるよう取り組んでいます。外部研修の情報も共有し、各々が必要に応じて参加できるよう体制を整えているところです。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			日頃から子どもたちの様子を共有しながら、丁寧なアセスメントを心がけ、現状を把握・分析した上で計画に反映できるよう努めています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	64%	36%		標準化されたアセスメントシートを使用していますが、内容が十分でないと感じる部分がある為、今後の課題として引き続き内容の改善に取り組んでいきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	50%	50%		会議の中で職員から意見をもらいながら、チームとして立案に努めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	86%	14%		職員からの新しい意見を積極的に取り入れ、季節などに応じて柔軟な対応ができるように努めています。2021年度も引き続き、アールブリュットを活動に盛り込み、物作りの楽しさや達成感を感じ取ることができるよう努めました。また、地域の美術館でアールブリュット展覧会を開催することができました。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	64%	36%		日によって状況が違うこともあり、十分とは言えません。より明確に課題を設定し、活動内容が充実できるように努めます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	79%	21%		計画の中で明確に位置づけされていないケースもありますが、日々の利用者の状況などに合わせて個別・集団を意識して活動しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	79%	21%		支援前ミーティングを行い、流れや担当、特記事項等を共有しています。送迎時間が早い日にはミーティングを行えない場合もありますが、活動中に必要な情報を職員間で都度共有できるよう努めています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	64%	36%		退勤時間がまちまちのため全職員が集まる形ではありませんが、業務日誌の活用や翌日に話し合いを行うことで、利用者の気になる言動や個々の気付き等を共有できるよう工夫しています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	93%	7%		正しく記録をとり、支援に繋がっていますが、個々に差があることが課題のため、スキルアップを図り、支援の改善・検討に繋がっていけるよう努めます。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			モニタリングは半年に一度実施しています。また計画変更の必要性の有無等、時間をかけて丁寧に行うようにしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせず支援を行っているか	63%	36%		ガイドラインの理解に差があるのが課題のため、今後も引き続き全職員がガイドラインの理解を深めらえるよう会議や研修などで周知していきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか	100%			状況に応じて、児童発達支援管理責任者・当該利用者の担当者などが参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	93%	7%		引き渡し時や電話などが中心ですが、必要に応じて連絡・調整ができています。
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、こどもの主治医等と連絡体制を整えているか	43%	57%		現在該当する方はいませんが、受け入れの際には体制を整えられるよう検討します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		100%		全員分は行っていないのが現状であり課題である為、引き続き、連携の強化に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			該当する機会があった際には、そのように対応していきます。相談支援事業所との連携は密になってきています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			児童発達支援センターと連携をとり、可能な範囲で研修に参加するようにはしていますが、十分とは言えません。今後より良い連携方法を検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのないこどもと活動する機会があるか		36%	64%	現在、放課後児童クラブや児童館と交流する機会はありません。また新型コロナの影響もあり、障がいのないこどもと交流をする機会を設けることはできませんでした。今後、要望があった際には前向きに検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			担当者を決め定期的に参加し、その場で得られた情報は職員間で共有できるようにしています。
	28	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	93%	7%		日頃から発達状況や課題については、共有をするようにしています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	22%	57%	21%	事業所だけでは対応が十分にできないケースもあります。難しい場合には、学校等と連絡を取り合い対応しています。専門性を向上させることで保護者への対応力も向上できるよう学びを深めています。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			基本的には契約時に細かく説明するようにはしていますが、その他必要に応じて都度丁寧に対応しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			傾聴の姿勢で保護者が相談しやすいよう心がけていますが、十分な助言に至らないこともあります。職員のスキルを向上させ、風通しのよい事業所にしていくよう今後も努めていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14%	50%	36%	2021年度も新型コロナの影響もあり、保護者会を開催することができませんでした。2022年度は、開催を検討しています。開催にあたり保護者のニーズを聞き取りながら、より良い機会を設けられるよう努めていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			体制は整備されており、ご意見を真摯に受け止めています。安心してご利用頂けるよう、今後も丁寧な対応を心がけていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			事業所内広報紙の発行やブログの更新を定期的に行っています。
	35	個人情報に十分に注意しているか	100%			個人情報の取り扱いには十分注意し対応しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	93%	7%		個々に合わせたツールを用いるよう心掛けています。定期的に保護者の方と話し合い、希望に沿って対応しています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	21%	22%	57%	コロナ禍で難しいケースもありますが、近隣住民との関係は良好で日常的に挨拶などかかわりは持っています。現状が落ち着き次第、地域住民のみならずとのかかわりについても検討していきます。	
非常時等の対	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	93%	7%		マニュアルは作成できており、内容の変更等があった際には都度職員に周知しています。保護者に対しては、対応方法についてまとめた手紙を年度初めや流行時期に配布し周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			火災・地震時の避難訓練は年2回、防犯訓練は年1回実施しています。過去の訓練時の様子も踏まえ、内容や利用者へのアプローチを検討しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	93%	7%		2021年度も新型コロナの影響で研修の回数が減ってしまいましたが、虐待防止委員を選出し、委員が中心となり定期的に研修する機会を設けています。

対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			法人として方針を定めており、やむを得ず身体拘束を行う際には、保護者に了解を得た上でサービス計画に記載しています。
	42	発作・アレルギーのある子どもを受け入れる場合は、医師の指示等に基づく対応がなされているか	93%	7%		アレルギー・発作・食事制限がある方に関しては、都度本人や保護者に確認をとって対応しています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	100%			報告書を全職員で閲覧するとともに、会議の場で必ず共有し、次に活かせるようにしています。